

令和4年度 金沢市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年6月
金沢市（石川県）

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

金沢市では、旧法計画及び認定計画（第1期、第2期、第3期）に基づく、中心市街地活性化の取組により、都市機能の低下を食い止め、伝統と賑わいが調和した金沢ならではのまちづくりを進めており、令和3年度には、住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまちを実現することを目指し、「住む人にも訪れる人にも快適で楽しいまちづくり」「人も地球も元気になるまちづくり」「文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり」を基本的な方針とする第4期認定計画を策定した。

計画の初年度である令和4年度には、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、ウクライナ危機と円安を契機とした物価高騰などにより、地域経済は一層先行き不透明な状況となったものの、地域の事業者への継続的な支援や、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされていた賑わい創出イベントの再開などにより、徐々に中心市街地は賑わいを取り戻しつつある。

今後は、国における新型コロナウイルスの感染症法上の分類見直しや大幅な対策緩和を契機として、社会経済活動を活発化させ、反転攻勢をかける時ととらえ、引き続き各種取組を多面的、重層的に展開していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
人口	53,021人	52,254人				
人口増減数	▲479人	▲767人				
自然増減数	▲701人	▲677人				
社会増減数	222人	▲90人				
転入者数	2,000人	1,936人				

2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

金沢市と協議会との間において、現在に至るまで基本計画の進捗状況についての意見交換を実施しており、事務局である金沢商工会議所や(株)金沢商業活性化センターなどと連携をとりながら基本計画に基づいた取り組みが進められている。

令和4年度は現行の第4期基本計画の初年度であったが、4つの数値目標のうち2つの項目において基準値を下回る結果となった。

しかしながら、計画の進捗状況に対する現状分析や新たに生じた課題の解決に向けた取り組みを図るなど一定の評価に値するものと思われる。

今後も市街地再開発事業やまちなか定住促進事業、文化施設活性化事業などの主要事業が着実に遂行され、数値目標を達成することにより中心市街地の更なる活性化が実現することを期待する。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちなかの定住者数を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	▲15人/年 (H29～R2平均)	60人/年 (R8)	▲198人 (R4)	C	—	①
ウォーカブルなまちなかを形成する	主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量	59,155人 (R2)	103,600人 (R8)	85,502人 (R4)	B	—	①
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	まちなかにおける自動車分担率	45% (H30)	42% (R8)	48% (R4)	C	—	①
歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数	171,206人 (R2)	357,000人 (R8)	219,916人 (R4)	B	—	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

基準値を下回ったものの、今後「まちなか定住促進事業」による認定マンションの供給等、新たな共同住宅の整備をすすめるとともに、戸建住宅・共同住宅等への支援を継続するほか、金澤町家の活用推進等により、目標達成をめざす。

「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しによる賑わい創出イベントの再開等により、歩行者通行量が増加し、目標値である新型コロナウイルス感染拡大前の水準には及ばないものの、基準値を上回るなど順調に回復しており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

「まちなかにおける自動車分担率」

新型コロナウイルス感染拡大前の水準である基準値は下回ったものの、「自転車利用促進事業」における「まちなり」の利用者数の増加や、「パーク・アンド・ライド駐車場」の利用も順調に回復してきており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

「中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数」

目標値である新型コロナウイルス感染拡大前の水準には及ばないものの、基準値を上回るなど順調に回復している。

また、令和3年度に開館した金沢未来のまち創造館の利用者数は目標値を上回っており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

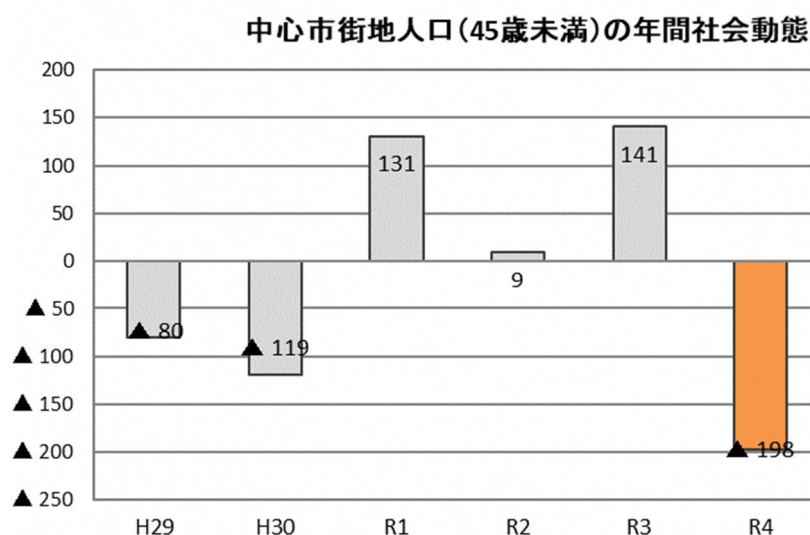
前回フォローアップは行っていない（フォローアップ初年度）

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H29 ~R2 平均	▲15 (基準年値)
R3	141
R4	▲198
R5	
R6	
R7	
R8	+60 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳より集計

※調査月：令和5年1月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心市街地活性化基本計画区域内の45歳未満の住民

〈分析内容〉

令和3年度には目標を上回る転入超過があったものの、令和4年度には一転して大幅な転出超過となった。今後、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和を受けて、今後の国内外からの転入出の動きを注視していく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成10年度～【実施中】		
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R4：111戸（建設中） 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。		
	○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95人（H28～R2平均）		
	制度	R4利用者数	うち45歳未満
	まちなかマンション購入	5人	5人
	住宅取得	75人	57人
	計	80人	62人
事業の今後について	令和5年度には、認定マンションの供給が見込まれており、引き続き、各種奨励金制度の周知を進め、まちなかへの居住を促進する。		

②. 「学生のまち・金沢」推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢学生のまち市民交流館を拠点に、学生団体等と協働し、まちなかの商店街との連携イベント等を実施 ・まちなかに居住し地域でのコミュニティ活動を行う学生に奨励金を交付（R3～） 		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年度～令和8年度）		
事業目標値・最新値及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ○金沢市学生のまちなか居住・地域活動促進奨励金制度 目標値：20人・件 R4利用件数：9件 ○金沢まちづくり学生会議の活動 		

	<ul style="list-style-type: none"> • OPEN CITY in KANAZAWA の開催（参加者約 60 名） • 木倉町ふうりんまつりへの参加 • まちなか学生まつりの開催（来場者約 300 名） • 青空市の開催 ○学生団体 SNOU の活動 <ul style="list-style-type: none"> • 歴史的空間再編コンペティションの開催
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> • 事業を継続して行い、まちなかの賑わいを創出するとともに、金沢への愛着を深めることで定住を促進する。 • 金沢市学生のまちなか居住・地域活動促進奨励金制度は令和4年度で事業完了。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりだが、令和4年度の実績値は基準値を下回った。しかし、今後、「まちなかマンション購入奨励金制度」等による共同住宅の供給等により、まちなかの定住人口の増加が見込まれる。

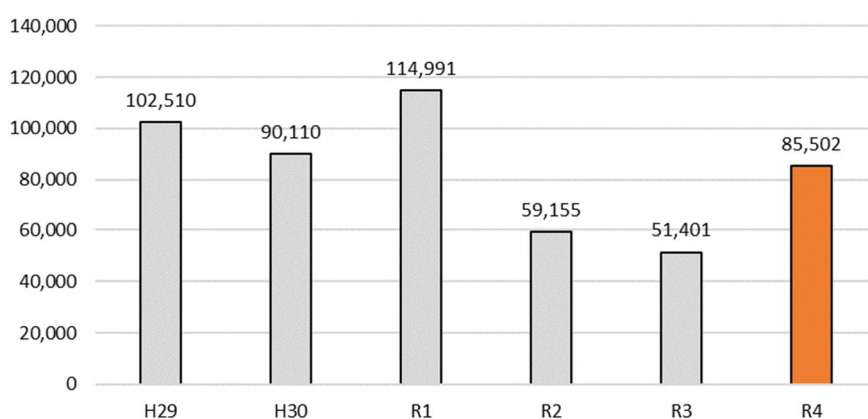
引き続き戸建住宅・共同住宅等への支援制度を継続し、制度の周知に加え、金沢ならではの暮らしを首都圏に向けて発信するとともに、移住希望者の受入体制を充実させるなど、目標達成に向けて最大限に努力していく。

（2）「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 55～P. 58 参照

●調査結果と分析

（人） 主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量



年	(単位)
R2	59,155 (基準年値)
R3	51,401
R4	85,502
R5	
R6	
R7	
R8	103,600 (目標値)

※調査方法：毎年10月の休日における中心市街地内主要商業地9か所の歩行者・自転車通行量の合計値

※調査月：令和4年10月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心市街地内主要商業地9か所の歩行者・自転車

調査地点	歩行者数(人)(自転車含む)					
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
金沢百番街前(金沢フォーラス前)	24,461	24,790	26,863	12,799	12,343	20,389
ガーデンホテル前	7,856	7,037	9,935	4,439	3,786	6,804
コラボン前	2,572	1,613	2,141	2,475	1,574	2,129
エムザ黒門小路前	8,249	7,786	11,378	5,564	4,597	9,207
エムザロ	11,669	10,271	16,318	6,752	4,708	13,445
東急スクエア(東急ホテル前)	11,149	8,359	11,331	6,243	5,649	8,134
アトリオ前(大和前)	10,003	8,885	11,260	5,426	5,297	8,888
プレーゴ前	11,324	9,183	12,141	6,162	5,924	7,804
砂場ビル前	15,227	12,186	13,624	9,295	7,523	8,702

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、まん延防止等重点措置のような外出自粛が要請されていなかったことにより、歩行者通行量が増加したものと推測される。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大前の水準には依然として戻っておらず、外国人の入国に係る水際対策が実施されていたほか、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、消費者マインドの冷え込みが戻っていないものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 片町四番組海側地区市街地再開発事業（市街地再開発組合）

事業実施期間	令和4年度～令和9年度【実施中】
事業概要	片町地区の老朽ビル更新のため、民間による再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（R4～R9）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>目標：再開発事業の実施及び共同住宅、商業施設等、定住促進や賑わい創出施設を整備</p> <p>平成29年度に市街地再開発準備組合を設立。令和元年度より都市計画決定に向けた基本計画の策定を進めている。</p> <p>老朽ビルが多く残る都心軸において、新たに共同住宅や商業施設を整備することにより、まちなかの定住促進と賑わい創出に寄与する。</p>
事業の今後について	令和5年度、都市計画決定予定

②. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（R3～R5）
事業目標値・最新値及び進捗状況	○金沢未来のまち創造館利用者数 目標値：18,109人 R4:19,185人
事業の今後について	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事業を連携させて新たな価値の創出を図る。

③. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成10年度～【実施中】												
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。												
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし												
事業目標値・最新値及び進捗状況	○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R4：111戸（建設中） 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。 ○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95人（H28～R2 平均）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>制度</th> <th>R4 利用者数</th> <th>うち45歳未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちなかマンション購入</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>住宅取得</td> <td>75人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80人</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>	制度	R4 利用者数	うち45歳未満	まちなかマンション購入	5人	5人	住宅取得	75人	57人	計	80人	62人
制度	R4 利用者数	うち45歳未満											
まちなかマンション購入	5人	5人											
住宅取得	75人	57人											
計	80人	62人											
事業の今後について	令和5年度には、認定マンションの供給が見込まれており、引き続き、各種奨励金制度の周知を進め、まちなかへの居住を促進する。												

●目標達成の見通し及び今後の対策

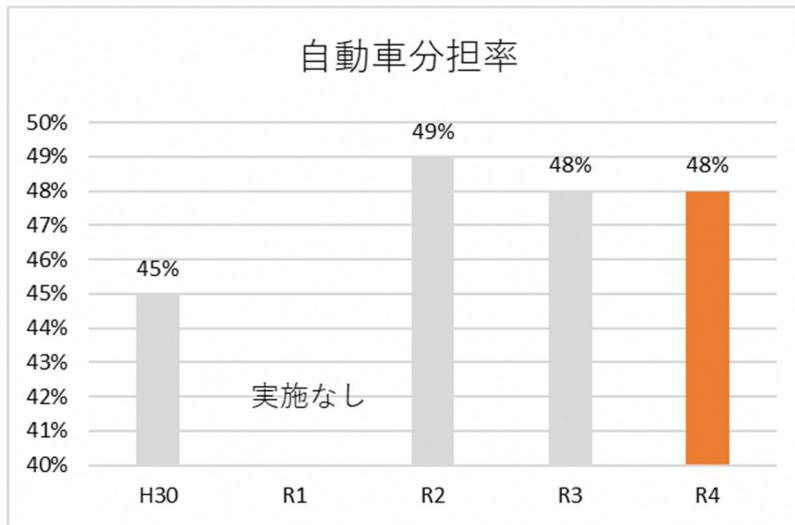
取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりである。

令和3年度に開館した金沢未来のまち創造館の利用者も目標を上回っており、まちなかマンション購入奨励金制度を活用した45歳未満のマンション購入奨励金制度の活用も堅調であることから、引き続き取組（事業等）の周知を図るとともに、居心地のいい、歩いて楽しいまちなかを形成するため、バリアフリーや無電柱化等の歩けるまちの整備や、犀川周辺エリアやまちなかの小規模公園等の公共空間を利活用する事業等を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。

(3) 「まちなかにおける自動車分担率」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 62～P. 65 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	45% (基準年値)
R3	48%
R4	48%
R5	
R6	
R7	
R8	42% (目標値)

※調査方法： まちなかにおける移動手段のモニタリング調査

※調査月： 9～10月

※調査主体： 金沢市

※調査対象： まちなかの発生交通量のうち、自動車によるものの割合

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、バス等公共交通利用を避ける傾向が続いているものと見られる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 自転車利用推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】		
事業概要	金沢市自転車活用推進計画の具現化として、自転車通行空間の整備、自転車駐輪環境の整備、公共シェアサイクル「まちなか」の運営、自転車ルールの遵守の啓発を実施する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	年度	月額会員数	月額会員の1日平均利用回数
	目標値	1,081	0.89
	R4	744	1.89
事業の今後について	(まちなか関連) ・次期まちなかのあり方検討 ・エリア拡大実証実験 ・路線バスの乗降データや人流データ等、様々なデータを組み合わせ		

	せてポート新設候補地を検討 【その他】 ・自転車走行指導帯等の整備 ・駐輪場の照明のLED化、防犯カメラの設置 ・自転車ルールマナー、ヘルメット着用促進等の啓発活動																			
②. 通勤時パーク・アンド・ライド（金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム協議会）、 観光期パーク・アンド・ライド（パーク・アンド・ライドシステム実行委員会）、 休日等パーク・アンド・ライド（金沢市）																				
事業実施期間	平成8年度～【実施中】																			
事業概要	通勤時・観光期等の交通渋滞の緩和を目的として、郊外の民間商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施する。																			
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（R4～R8）																			
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>○通勤時パーク・アンド・ライド駐車場収容台数（石川中央都市圏全体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収容台数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2,056</td> <td>1,653</td> </tr> <tr> <td>R4.10時点</td> <td>1,296</td> <td>613</td> </tr> </tbody> </table> <p>○観光期パーク・アンド・ライド利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収容台数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.5.3～4</td> <td>987</td> <td>1,929</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開設駐車場：石川県庁、NTT 鳴和、石川県建設総合センター、東金沢西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場、公設花き市場 評価：利用者アンケートではほぼ全員が「また利用したい」と回答しており、引き続き周知に努める。</p> <p>○休日等パーク・アンド・ライド利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.4.～R5.3</td> <td>16,359</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場の土・日・祝日の利用者数 評価：利用者数は順調に伸びており、引き続き周知に努める。</p>	年度	収容台数	利用者数	目標値	2,056	1,653	R4.10時点	1,296	613	年度	収容台数	利用者数	R4.5.3～4	987	1,929	期間	利用者数	R4.4.～R5.3	16,359
年度	収容台数	利用者数																		
目標値	2,056	1,653																		
R4.10時点	1,296	613																		
年度	収容台数	利用者数																		
R4.5.3～4	987	1,929																		
期間	利用者数																			
R4.4.～R5.3	16,359																			
事業の今後について	・通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備、利用促進 ・通勤時、観光期等のパーク・アンド・ライド駐車場の取組を継続し、市内中心部の交通渋滞を緩和																			

③. 歩けるまちづくり推進事業（金沢市、石川県、県警）

事業実施期間	平成14年度～【実施中】
事業概要	地元と市長が「歩けるまちづくり協定」を締結し、構想具現化の取組に対して、各種支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（R4～R8）
事業目標値・最新値及び進捗状況	協定締結地区へのフォローアップ等を実施し、歩けるまちづくりを推進している。 <ul style="list-style-type: none"> 歩けるまちづくり協定締結地区 6地区 まちなかアートベンチの設置 11か所22基
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> 要望地区の状況調査 歩けるまちづくり協定フォローアップ まちなかアートベンチの維持管理

④. モビリティ・マネジメント事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	幅広い層に向けて、過度に自動車に依存しない意識を育むための社会実験や講演等を実施し、公共交通機関を利用したまちなかへの来街や周回を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（R4～R8）
事業目標値・最新値及び進捗状況	幅広い層に対して意識啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> カーフリーデー来場者（R4）4,500人 高齢者モビリティ・マネジメント開催（R4）5回97人
事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> マイカーから公共交通への転換を啓発するカーフリーデーイベントを実施 大学生を対象に、シェアサイクル&コミュニティバスの割安料金を提供し、公共交通の利用を促進 高齢者交通安全教室を活用し、高齢者に対してモビリティ・マネジメント講義を実施 商店街を中心にトランジットモールの社会実験を実施

●目標達成の見通し及び今後の対策

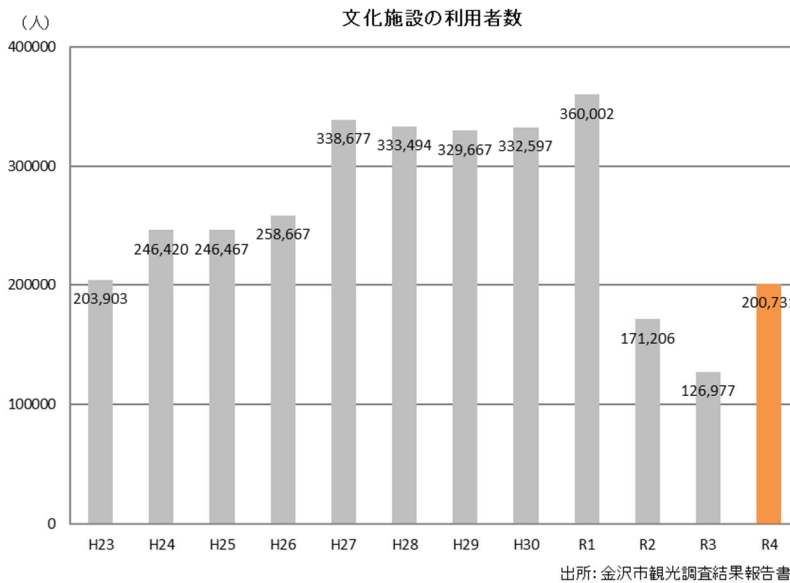
取組（事業等）の進捗状況は概ね予定とおりである。

実績値について、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準には満たないものの、公共シェアサイクル「まちなか」の利用増や、「通勤時パーク・アンド・ライド」等利用の堅調な推移により、回復傾向にあり、引き続き取組（事業等）の周知を図り、施策を総合的かつ計画的に推進することにより、目標達成は可能であると判断する。

（４）「中心市街地の市文化施設(14 施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照

●調査結果と分析



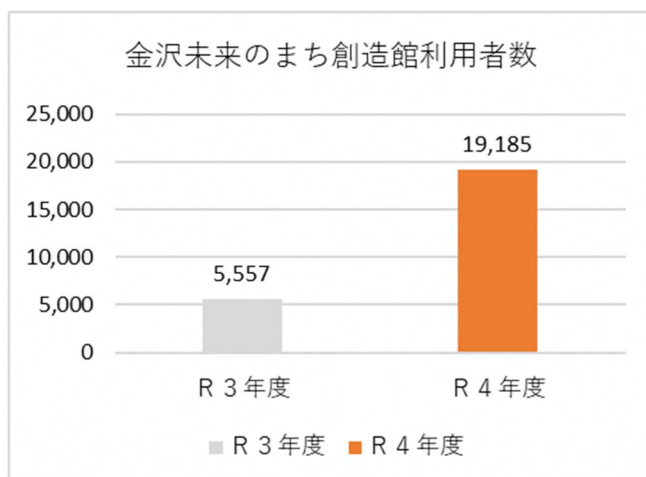
年	(単位)
R2	171,206 (基準年値)
R3	132,534
R4	219,916
R5	
R6	
R7	
R8	357,000 (目標値)

※調査方法：利用者数を集計

※調査月：1月～12月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心部の市文化施設(14施設)の利用者数



※調査方法：利用者数を集計

※調査月：4月～3月

※調査主体：金沢市

※調査対象：金沢未来のまち創造館の利用者数

〈分析内容〉

文化施設については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、まん延防止等重点措置のような外出自粛が要請されていなかったことにより、利用者数が増加したものと推測される。

金沢未来のまち創造館については、令和3年8月の供用開始以降、様々なイベントの開催等により目標を上回る利用者数となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 文化施設活性化推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	文化施設への誘客を促進するため、文化施設の展示機能を強化するなど、金沢の文化を体験できるコンテンツ等を開発
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（R4～R8）
事業目標値・最新値及び進捗状況	区域内の文化施設（16施設）の来場者数 1,994,306人（R4） 評価：新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻っていないものの、イベントの開催等により利用者数は回復傾向にある。
事業の今後について	引き続き、本市の文化体験ができるコンテンツによる魅力を発信し、まちなかの回遊を促し、賑わい創出を図っていきたい。

②. 茶の湯のまち金沢魅力発信事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するほか、全国学生金沢大茶会を開催する
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（R4～R8）
事業目標値・最新値及び進捗状況	全国学生大茶会における、参加校（大学茶道部）及び参加者 参加校：24校 約200人、茶席参加者：約1,300人（R4） 評価：新型コロナウイルス感染拡大以来3年ぶりに開催することができ、全国から多くの学生が参加した。
事業の今後について	引き続き、中心市街地に集積する茶席を活用し、交流人口拡大を目指していく。

③. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（金沢市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。
国の支援措置名	地方創生推進交付金（内閣府）（R3～R5）

及び支援期間	
事業目標値・最新 値及び進捗状況	○金沢未来のまち創造館利用者数 目標値：18,109人 R4:19,185人
事業の今後につ いて	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事 業を連携させて新たな価値の創出を図る。

●**目標達成の見通し及び今後の対策**

取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

新型コロナウイルス感染症の分類見直しや大幅な対策緩和を好機ととらえ、引き続き、取組（事業等）を進め、施設利用者のさらなる増加につなげていくとともに、今後も目標達成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進する。